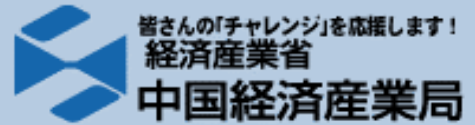


# NEWS RELEASE

Chugoku Bureau of Economy, Trade and Industry  
<http://www.chugoku.meti.go.jp>



皆さんの「チャレンジ」を応援します！  
経済産業省  
中国経済産業局

平成28年3月9日

企画調査課長 藤本 茂文  
TEL (082) 224-5633

## 中国地域百貨店・スーパー販売動向 (平成28年1月速報)



政府統計

### 1. 百貨店・スーパー（全店舗）の動向

#### (1) 販売額・前年同月比増減率

1月の販売額は847億円で、前年同月比3.2%と、2か月連続で前年を上回った。

百貨店（16店舗）は254億円で、同▲1.2%と、2か月ぶりに前年を下回った。

スーパー（295店舗）は593億円で、同5.0%と、10か月連続で前年を上回った。

#### (2) 商品別

合計 「飲食料品」が同5.0%、「その他の商品」が同1.5%など7商品が前年を上回った。  
「婦人・子供服・洋品」が同▲2.4%、「紳士服・洋品」が同▲0.6%と前年を下回った。

百貨店 「飲食料品」が同3.2%、「その他の商品」が同1.2%など5商品が前年を上回った。  
「婦人・子供服・洋品」が同▲5.4%、「紳士服・洋品」が同▲5.5%など4商品が前年を下回った。

スーパー 「飲食料品」が同5.2%、「家庭用電気機械器具」が同24.5%など全ての商品が前年を上回った。

### 2. 百貨店・スーパー（※既存店）の動向

※既存店・・・調査当月と前年同月でともに存在した店舗

#### (1) 前年同月比増減率

1月の販売額は前年同月比1.3%と、3か月ぶりに前年を上回った。

百貨店は同▲1.2%と、2か月ぶりに前年を下回った。

スーパーは同2.4%と、3か月ぶりに前年を上回った。

#### (2) 商品別

合計 「飲食料品」が同2.9%、「家庭用電気機械器具」が同25.8%など6商品が前年を上回った。  
「婦人・子供服・洋品」が同▲3.0%、「その他の商品」が同▲1.9%など3商品が前年を下回った。

百貨店 「飲食料品」が同3.2%、「その他の商品」が同1.2%など5商品が前年を上回った。  
「婦人・子供服・洋品」が同▲5.4%、「紳士服・洋品」が同▲5.5%など4商品が前年を下回った。

スーパー 「飲食料品」が同2.8%、「家庭用電気機械器具」が同26.3%など8商品が前年を上回った。  
「その他の商品」が同▲4.1%と前年を下回った。

販売額及び前年同月比増減率（ ）内は既存店（調査当月と前年同月でともに存在した店舗）

	中国地域		全 国	
	販売額(百万円)	前年同月比(%)	販売額(百万円)	前年同月比(%)
合計	84,711	3.2 ( 1.3 )	1,691,486	2.1 ( 1.0 )
百貨店	25,394	▲1.2 (▲1.2)	586,885	▲2.1 (▲1.5)
スーパー	59,317	5.0 ( 2.4 )	1,104,601	4.3 ( 2.4 )

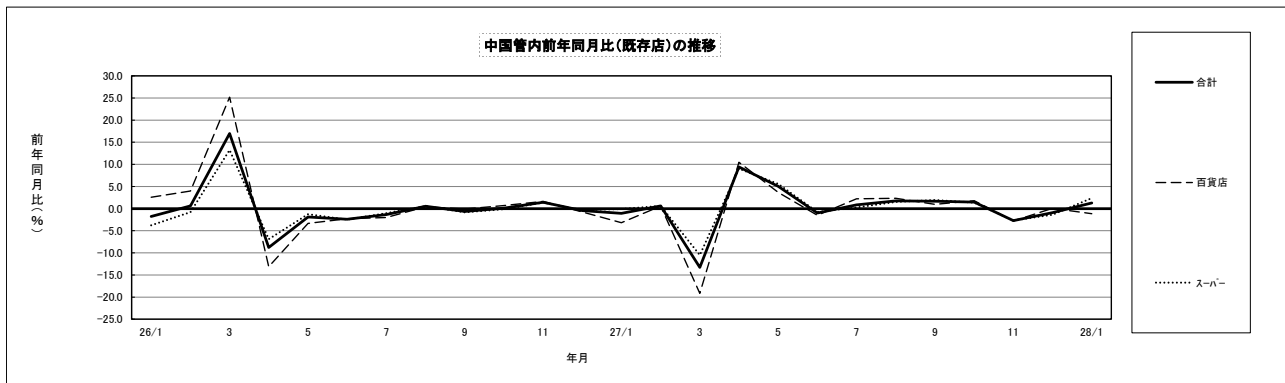
次回公表予定【平成28年2月分】平成28年4月7日

★★1月のうごき・一口メモ★★

気温：対平年+0.4℃ 対前年▲0.2℃

【百貨店】初売りは好天に恵まれ好調だったものの、中旬以降の寒波の影響で客足が鈍ったこともあり、毛皮・レザー、コート、ジャケット、セーターなどの冬物衣料が低迷した。一方、バレンタイン商戦は「高級チョコの自分買い」需要により好調で、舶来時計やハンドバッグは引き続き良い動きがみられたほか、和食器、洋食器の売れ行きも良かった。

【スーパー】飲食料品では、前半の気温高と限定商品効果によりアイスクリームの売れ行きが良かったほか、合格祈願商品、節分関連商品や精肉、惣菜、ベーカリーなどが好調だった。冬物衣料も福袋やクリアランスが好調で、春財布の売れ行きも良く、寒波到来により、肌着、靴下、毛布にも良い動きがみられた。



### 3. 県別動向

#### (1) 前年同月比増減率(既存店)

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
合計	0.8(▲3.0)	2.7(▲0.9)	2.9(0.2)	0.3(▲1.4)	0.6(▲0.8)
百貨店	▲1.4(▲0.1)	x	x	▲1.6(▲0.6)	x
スーパー	1.9(▲4.5)	x	x	1.6(▲1.9)	x

注1：( )内は、先月の確報値

注2：「x」は申告者の秘密保持のために秘匿にした箇所

#### (2) 県別商品別動向(注：前年同月比増減率は既存店)

鳥取県は、「家庭用電気機械器具」、「飲食料品」など6商品が前年を上回り、「その他の商品」、「身の回り品」など3商品が前年を下回った。全体としては、前年同月比0.8%と3か月ぶりに前年を上回った。

島根県は、「飲食料品」、「身の回り品」など5商品が前年を上回り、「婦人・子供服・洋品」、「その他の商品」など4商品が前年を下回った。全体としては、前年同月比2.7%と2か月ぶりに前年を上回った。

岡山県は、「飲食料品」、「その他の商品」など5商品が前年を上回り、「婦人・子供服・洋品」、「身の回り品」など4商品が前年を下回った。全体としては、前年同月比2.9%と2か月連続で前年を上回った。

広島県は、「飲食料品」、「家庭用電気機械器具」など5商品が前年を上回り、「婦人・子供服・洋品」、「その他の商品」など4商品が前年を下回った。全体としては、前年同月比0.3%と3か月ぶりに前年を上回った。

山口県は、「飲食料品」、「家庭用電気機械器具」など5商品が前年を上回り、「その他の商品」、「婦人・子供服・洋品」など4商品が前年を下回った。全体としては、前年同月比0.6%と3か月ぶりに前年を上回った。

4. 商品別動向

	商 品 名	前年同月比 (全店舗)	前年同月比 (既存店)
百 貨 店	衣料品	▲5.5%	▲5.5%
	「紳士服・洋品」	(▲5.5%)	(▲5.5%)
	「婦人・子供服・洋品」	(▲5.4%)	(▲5.4%)
	「その他の衣料品」	(▲6.1%)	(▲6.1%)
	身の回り品	0.5%	0.5%
	飲食料品	3.2%	3.2%
	家庭用品	1.6%	1.6%
	「家具」	(▲2.9%)	(▲2.9%)
	「家庭用電気機械器具」	(19.7%)	(19.7%)
	「その他の家庭用品」	(2.7%)	(2.7%)
	その他の商品	1.2%	1.2%
ス   パ 	衣料品	5.4%	3.5%
	「紳士服・洋品」	(5.0%)	(2.8%)
	「婦人・子供服・洋品」	(4.6%)	(2.7%)
	「その他の衣料品」	(11.1%)	(10.3%)
	身の回り品	6.1%	2.7%
	飲食料品	5.2%	2.8%
	家庭用品	14.6%	12.9%
	「家具」	(11.6%)	(12.7%)
	「家庭用電気機械器具」	(24.5%)	(26.3%)
	「その他の家庭用品」	(9.3%)	(5.3%)
	その他の商品	1.1%	▲4.1%

(参考)

## 中国地域コンビニエンス・ストア 販売動向 (平成28年1月分速報)

平成28年1月のコンビニエンス・ストアの商品販売額及びサービス売上高(以下「販売額等」という)は474億円、新規店舗を含む全店舗では、前年同月比5.2%と35か月連続で前年を上回った。

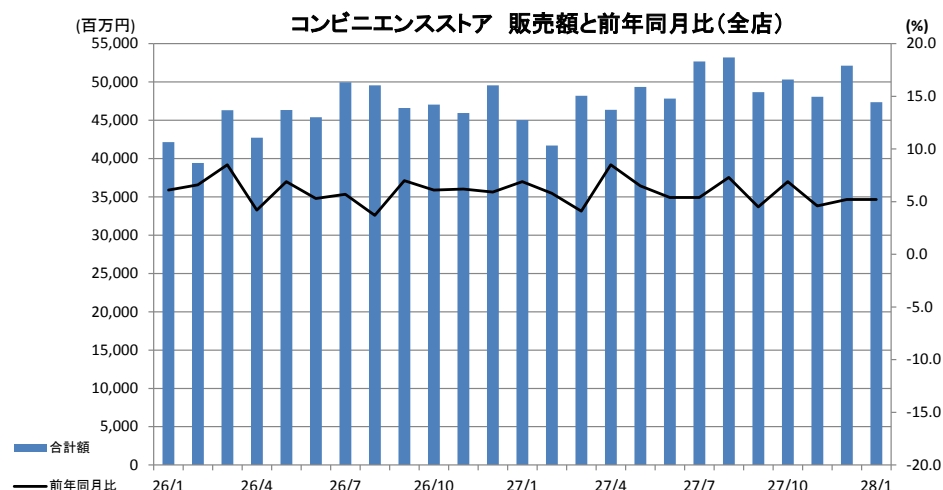
販売額等及び前年同月比増減率(全店)

単位：百万円(小数点以下四捨五入)，%

年月	中国地域					全国			
	商品販売額及びサービス売上高		店舗数		一店舗当たりの販売額	商品販売額及びサービス売上高		店舗数	
	金額	前年(同月)比	店舗数	前年(同月)比	前年(同月)比	金額	前年(同月)比	店舗数	前年(同月)比
H25	519,750	4.3	2,659	6.0	▲1.6	9,872,416	4.2	50,234	5.1
H26	550,984	6.0	2,810	5.7	0.3	10,423,230	5.6	52,725	5.0
H27	583,503	5.9	2,880	2.5	3.3	10,993,764	5.5	54,505	3.4
H27.1	45,032	6.9	2,803	4.8	1.9	843,651	6.2	52,758	4.7
2	41,702	5.8	2,812	4.4	1.3	785,223	5.1	53,242	4.6
3	48,191	4.1	2,818	4.3	▲0.2	905,421	3.8	53,283	4.8
4	46,350	8.5	2,827	4.2	4.1	879,170	8.4	53,361	4.5
5	49,340	6.5	2,835	4.2	2.2	934,411	6.4	53,551	4.2
6	47,833	5.4	2,843	4.2	1.1	908,299	4.6	53,566	4.0
7	52,665	5.4	2,850	3.9	1.5	1,003,209	5.3	53,792	3.9
8	53,200	7.3	2,868	3.1	4.1	996,075	5.5	54,135	3.5
9	48,680	4.5	2,863	2.9	1.5	918,917	5.1	54,027	3.4
10	50,312	6.9	2,869	2.8	4.0	948,444	6.1	54,105	3.3
11	48,062	4.6	2,876	2.5	2.0	899,172	4.2	54,229	3.0
12	52,136	5.2	2,880	2.5	2.6	971,772	5.1	54,505	3.4
p H28.1	47,371	5.2	2,889	3.1	2.1	884,869	4.9	54,599	3.5

pは速報値。H26.12月までは事業所からの修正を反映した確報値。

H24.1月分速報より調査対象事業所の見直しを行ったため、これに関わる前年同月比等増減率は、この見直しに伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算してある。



### コンビニエンス・ストア統計調査について

1. <調査の範囲> この調査は、直営店やFC、VCなどの形態に関係なく、500店舗以上を有するコンビニエンス・ストアのチェーン企業本部を対象としています。
2. <調査の開始時期及び期間> この調査は、平成10年10月分から調査を開始しましたが、平成10年4月分まで遡及して、同時に前年同月値も併せて調査しています。